



『活きてることわざ』

船橋市議会議員

神田廣栄(かんだひろい)市議会報告

【事務所】船橋市前原西8-24-8 ☎490-3333 FAX 465-7117
Eメール hiroei@muc.biglobe.ne.jp
ホームページ <http://www.hiroei.jp>

自明(じかい)の理・危急存亡の秋(とき)

【自明の理】◇わざわざ説明する必要もなく、自ずから明らかな論理。

【危急存亡の秋】◇危険が目の前に迫り、生き残れるか滅びるかの重大な瀬戸際にあること。

- ・秋は穀物を収穫する、一年の大変な時期であることから「秋」の字を用いて重大な時の意を表す。

あっと言う間にカレンダーが2枚目になりました。立春になったとはいえ、まだまだ寒い日が続きますので体調の管理には十分ご留意ください。

ところで、昨年の12月20日に首相官邸に入ることができます。政権交代により野田総理大臣が退陣される直前でした。



政権奪取のみが目的だったと思われ、ばら色のマニフェストを掲げ、念願の政権は手に入れたものの、0という陰の男とそれに操られたHとKという二人の首相による、あの稚拙な政権運営では国民にそっぽを向かれるのは『自明の理』でした。いかに野田首相が正論を訴えても時すでに遅し、国民の大半は「党」そのものに信頼を失っていたのです。

わたしは、首相官邸で野田首相に「民主党は大敗したけど、後ろから鉄砲を打つ者がいなくなったので、良かったのではないか」と申し上げました。国論を二分する問題にも、野田首相が国民の将来を考え訴えた続けた政策は支持しています。ubreず信念を貫かれたと思っていますし、将来必ず「あれは正しかった」ということになると確信しています。

その野田首相を同じ党に属する者が、自分の選挙に不利になると、大衆迎合に走ったのが、今回の大敗の大きな原因のひとつであったと思います。後ろから鉄砲を打ったのです。

そんな人間は要りません。野田首相が私に答えたことは書きませんが、「意を同じくする人を再度結集して日本のために頑張ってください」「船橋市の選挙結果をみると、船橋市民は是々非々の良識ある選択をしましたね」と申し上げました。



さて船橋市議会について述べます。

今市議会は『危急存亡のとき』となっています。「議会改革」の御旗を掲げ、過去から蓄積されたものを否定し、あたかも国の政権交代時のような気配です。もちろん、不都合なことや無駄なことは改めるのは当然ですが、次のようなことが進められています。

まず「市議会だより」についてです。広報編集委員会を常任委員会に格上げしました。より開かれた市議会を目指し、云々、と大義名分は結構ですが、常任委員会になって大きくかわるのものが、視察などが公費で賄われます。視察に行くことを否定するものではありませんが、他の委員会視察でも公費の無駄遣いと思われるものもあります。わざわざ視察までして得なければならない知識なのか疑問を感じるものもあります。

また、1月25日発行の「市議会だより」の1面に「次の211号からA4サイズにする」という発表がありました。1面を飾る写真募集は画期的なことで賛同しますが、今までのタブロイド判では何故だめなのか解りません。

市議会事務局で市政モニターに「市議会だより」に関するアンケートを実施した結果、有効回答数が196あり、年代比率をみると、



50歳以上の回答数が48%、50歳未満が52%でした。

特に、紙面の大きさについて見てみると「現在のタブロイド判がちょうどいい」が、なんと95%もありました。「大きい」が4%、「小さい」が1%という結果で、ほとんどタブロイド判の現状肯定派でした。

さらに、コストも調べてみたところ、全く違うのです。

年4回発行する「市議会だより」の平成24年度予算は、約1448万円です。これは、印刷代や新聞折り込み代、郵送代等の総費用です。

ところが、平成25年度から実施するというA4判の予算は、約2383万円となり、タブロイド判より35%約935万円も高いものになってしまいます。

A4判にする効果もあるでしょうが、なんと言っても経費を増額してまで実施すべきことなのか疑問です。税金の無駄遣いも甚だしいのです。

以上のようなことを述べた私に対して「もう委員会で決定したことだ。神田の会派からも委員が出ているのに、何をいまさら」と、すぐ批判の文章を流す議員がいますが「ならぬものはならぬのです」。そういう議員は、もう一度「税金の無駄遣いを排除し有効活用を図る」という、議員の本分・原点を見つめ直しましょうよ。

己の言動を棚に上げ、他人の批判や揚げ足とりをし、自己顕示している者もいます。今船橋市議会は「議会改革」の前に「議員の資質改革」を優先すべき事態にあると思います。

